

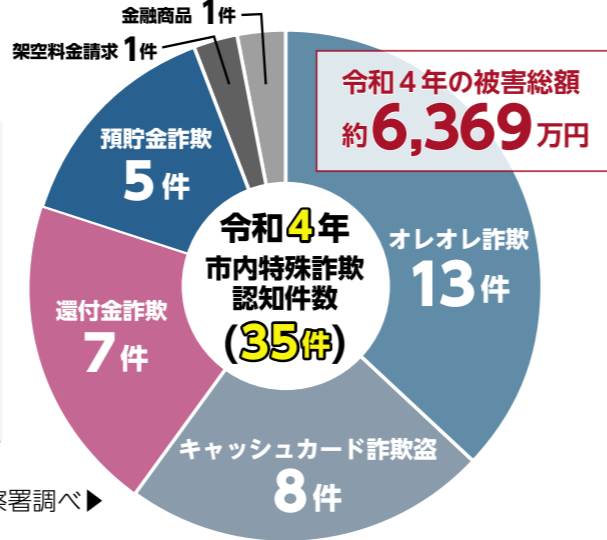
## 本当にその人は職員？



行政機関等が、還付金の受け取り等のお手続きのためにATMの操作をお願いすることは**ありません**。また、納税のために金融機関の口座を指定して、現金の振り込みを求めことは**ありません**。

不安を感じたら、相談窓口または市役所の各担当課へご連絡ください。

久喜警察署調べ▶



## 詐欺への対策

### 最も有効なのは**犯人と話さないこと**

次のような対策も効果的です /



留守番電話



ナンバーディスプレイ



通話録音装置



合言葉を決める

## 普段から危機意識を



久喜警察署 生活安全課長  
こばやし ひろゆき  
**小林 宏行さん**

県警公式チャンネルで動画を公開中 ▶



**他人事として考えないで**  
特殊詐欺の電話は、皆さんのところにもいつかかってくるか分かっていません。まずは、他人事として考えてほしくないなと思います。ニュースや新聞でも毎日のように報道されていますが、いざ自分に電話がかかってくると、慌てて騙されてしまう方が多いんです。自分が被害の当事者になるかもしれないという意識を持って、いざという時には慌てず対応する。そういった普段からの心構えが一番大事かなと思います。

中には、警察官が「それは詐欺ですよ」と説明しても、詐欺だと気がかない方もいらっしゃると思います。1時間説得しても納得してもらえず、息子さんと連絡が取れて話をさせると、詐欺だったん

だつて魔法が解けるんです。本当に魔法のように、犯人側も言葉巧みに、あの手この手で方法を考えられます。

あとは、電話でお金とかキャッシングカードの要求の話が出た時には、特に落ち着いていただきたい。誰かにお金を渡す前に、まず我々に相談してほしいですね。

**家族や地域で進んで声かけを**  
警察が言うよりも、家族が言うほうが聞いてくれると思いますし、普段から何でも相談できる関係、家族の絆を作っておいてほしいと思います。また地域では、ATMで高齢者が携帯電話を使っていたら、騙されているかと思つて警察に通報したり、大丈夫ですかと積極的に声を掛けていただくようお願いいたします。

## 急な電話でも焦りは禁物

# 特殊詐欺

**始まりは1本の電話から**  
特殊詐欺とは、犯人が電話などで対面することなく、親族や公共機関の職員などを名乗って相手を信頼させ、現金やキャッシングカードを騙し取る犯罪のことです。全国で毎日のように被害が発生し、被害件数も高止まりしているのが現状です。市内でも、令和4年には35件の被害が発生し、その被害額は約6369万円にも上ります。

その手口は非常に巧妙ですが、こうした被害のほとんどは、1本の電話に出たことがきっかけ。前から特殊詐欺のことを知っていても、電話に出てしまうと、犯人の言葉巧みな話を信じて騙されてしまうのです。

**誰かにすぐ相談できる環境を**  
特殊詐欺の被害者のうち、9割以上が65歳以上の高齢者。「自分は騙されるはずがない」「うちの親は大丈夫」と、思い込んでいませんか。

「もしかして詐欺かも」と思ったときに、家族や身近な人と一緒に相談できる環境があることも、被害を防ぐためには大切です。家族みんなで情報を共有し、この機会に対策を話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 還付金詐欺

自治体や税務署等の職員を名乗り、医療費や年金などの還付金があると言ってATMを操作させ、現金を振り込ませる詐欺。



「ATMで還付金を受け取れる」

「払い戻しには期限があるから、今すぐ携帯電話を持って近くのATMへ」

## オレオレ詐欺

息子や孫になりすました犯人から電話があり、仕事のトラブルなどを口実に、お金を要求する詐欺。



「会社のお金が入ったバッグを失くした」

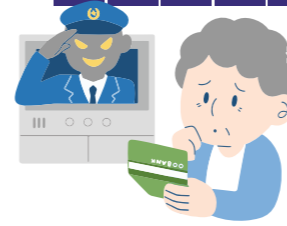
「訴えると言われてお金が必要」

「風邪を引いた」「携帯番号が変わった」などと最初に連絡し、不自然に思われないようにするケースも。

## それ、詐欺かも？ 代表的な手口を紹介します

被害が増加中 /

## キャッシングカード詐欺盗



警察官などと偽って電話をかけ、キャッシングカードの不正利用などの名目で嘘の手続きを説明し、自宅を訪れて、目を離した際にカードをすり替え盗み取る詐欺。

「銀行口座が不正に利用されている」

「キャッシングカードを確認しに行く」

## 預貯金詐欺



キャッシングカードの確認や取替の必要があるなどの口実で自宅を訪れ、カードや通帳を預かると言って騙し取る詐欺。

「払戻し金の手続きのため暗証番号を教えて」

「キャッシングカードを交換する必要がある」

# STOP!